

# 西海ブロック水産業情報

NO. 69 (平成22年4月～6月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>【水産利用加工】 メダイ等の鮮度保持試験 サワラ成分分析 サゴシ加工残渣を使ったエキス抽出</p>	<p>●平成22年度から環境生態系保全活動支援事業でウニ駆除を実施。 ●コショウダイに寄生虫(ディディモゾーン)が多い(ここ数年来、寄生が目立つ)。 ●6月8日に福岡市の都久志会館で開催された第60回浅海増殖研究発表全国大会)において有明海区研究連合会の島崎達喜氏(大野島漁協)が、「美味しいノリを穫って、消費者に届けよう!」について発表し、最優秀発表として農林水産大臣賞を受賞。また、大和高田地区アサリ漁業管理委員会の武末憲志氏(有明漁協)は、「新たなアサリの増産をめざして」について発表し、研究奨励賞を受賞。</p>	<p>●養殖アワビの販売が不振。漁連、漁協、漁業者に販売促進の具体策を提案し、支援している。 ●フグはえ縄、イカ釣り等を対象に、漁場選定に役立つ、広域で詳細な水温情報を提供中。 ●6月～7月上旬にかけ、唐津湾と伊万里湾のまき網でマイワシが混獲された。(十数年ぶり) ●タイラギ調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。 ●浅海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) ●タイラギ潜水器漁業は、12月13日に解禁、西部海域において漁獲されている。漁期末までの漁獲量(貝柱)は、約112トン。 ●ガザミは不漁。</p>	<p>●研究技術開発 1. 水産物流通加工強化支援事業 2. 水産加工原料確保のための新原料開発 3. 連携プロジェクト イカ肉の高度有効利用に関する研究 4. 戦略プロジェクト 県産冷凍すり身の新たな製法とその利用法の開発 5. 魚介類の出荷前蓄養と環境馴致による高品質化システム技術開発 6. 血合肉褐変防止技術を基盤とする国際競争力の推進と海外市場展開 7. 地域イノベーション創出研究開発事業「新規海水浄化装置を用いた活イカ輸送システムの開発」</p>	<p>特記事項なし</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>特記事項なし</p>	<p>赤潮発生: 平成22年6月22日に延岡市北浦の古浦港内及び宮野浦周辺で赤潮が観察された。赤潮から、ヘテロシグマ・アカシオが原因と判明。その後、着色域が拡大し、漁協を通じて関係業者に餌止め等を実施するよう連絡した。消毒と選別を実施した養殖カンパチ等がへい死(2～3000千尾)したとの報告があった。 7月10日頃まで赤潮及びびパッチ等が北浦湾並びに周辺海域で観察されたが、その後終息傾向にある</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>特記事項なし</p>